2026年4月公立化に向けて認可申請中

時期は予定であり、変更の可能性があります。

2026.4 公立化へ

地域と共に学び未来を切り拓く

Beyond the Challenge!

挑戦のその先へ

東北公益文科大学
Tohoku University of Community Service and Science

酒田キャンパス（学部）　山形県酒田市飯森山三丁目5番地の1
鶴岡キャンパス（大学院）山形県鶴岡市馬場町14番1号

公立大学法人設立準備委員会
事務局　山形県高等教育政策・学事文書課
東北公益文科大学公立化準備室
電話番号 023-630-3323

公立化の情報はこちらから
https://www.koeki-u.ac.jp

2026.4 公立化で何が強化される？

POINT.1 学問分野を越えた地域課題への取組

- データサイエンス教育の充実
- 新たな価値や仕組みを構築し実行するアントレプレナーシップ教育の充実

POINT.2 地域を活性化する人材の育成強化

- 食文化など地域の歴史や文化の魅力を学び発信する人材の育成
- 環境の視点から地域課題の解決や持続可能な社会の構築に取り組む科目の増強

POINT.3 地域との連携、地域への還元

- 地域の課題解決に向けた産学官連携プラットフォームの創設
- 地元産業界、自治体との連携による学生のキャリア形成支援の強化

公益学部 公益学科

詳しくは大学ホームページへ

政策コース
法学、政治行政、公共政策の分野を幅広く横断する学びを通じて、社会の仕組みや政策に関する知識を修得

観光・まちづくりコース
観光、暮らし、都市・農山漁村再生、自然環境の視点から魅力ある地域づくりを学び、コミュニケーション力・発信力・批判的思考力等のスキルを実践的に修得

経済・経営コース
市場経済や、マーケティング・経営戦略などの企業経営をはじめ、会計・心理・環境を含めた多様なアプローチで知識を修得

地域福祉コース
児童福祉、障害者福祉、高齢者福祉、地域福祉等の理論や法制度、ソーシャルワークの技法など、社会福祉全般について幅広く知識を修得

メディア情報コース
情報処理やデータ分析の基礎から始め、公益性の高いオープンシステムを活用して、クリエーターやデータサイエンティストとして社会に参画するための知識やスキルを修得

2026.4 国際学部 国際コミュニケーション学科 開設

▶徹底した英語教育
- 英語に関する科目を4年間履修可能
- 専門科目の約80%は英語または英語+日本語で開講

▶2年次に全員が英語圏に留学
- 留学先は複数の国・大学から選択
- 期間は短期（3週間程度）、中期（3か月程度）より選択

▶多文化共生コーディネーター養成
- 外国人住民の生活課題やニーズを理解し、制度や資源とつなげて支援する地域専門人材を、山形県と連携して養成

▶中学・高校の英語教員免許の取得が可能
（課程認定申請中）
ただし、文部科学省における審査の結果、予定している教職課程の開設時期等が変更となる可能性があります。

詳しくは大学ホームページへ

2026年度入学者選抜

（1）募集人員（公益学部195名、国際学部40名）

	公益学部	国際学部	合計
総合型選抜	20名	5名	25名
学校推薦型選抜	85名	15名	100名
一般選抜	90名	20名	110名
合計	195名	40名	235名

（2）学校推薦型選抜に地域枠を設定

学校推薦型選抜100名のうち、6割程度を県内高校出身者から、その半数程度を庄内地域の高校出身者から優先的に選抜します。

2026年度入学者選抜概要はこちら

公立化による授業料等の変更（予定）

	県内者	県外者
入学金	282,000円	564,000円
授業料	535,800円	
初年度合計	817,800円	1,099,800円

※ 県内者とは、本人又は本人の一親等の尊属が本人の入学日の1年前から引き続き山形県の区域内に住所を有する者をいい、県外者とはその他の者をいいます。
※ 入学検定料は、県内者、県外者ともに17,000円となります。

東北公益文科大学
Tohoku University of Community Service and Science